

獣医学科創立80周年記念

施設見学会



SINCE 1944

DEPARTMENT OF VETERINARY MEDICINE  
YAMAGUCHI UNIVERSITY



令和6年10月26日

# 獣医学科施設案内マップ見学会



共同獣医学部本館



獣医学研究科棟

## Campus MAP



獣医学国際教育センター  
(iCOVER)



総合病性鑑定研究施設  
(iPaDL)



動物医療センター



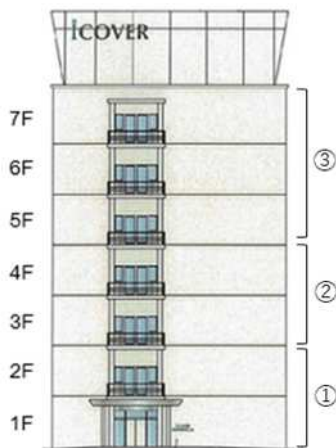
# 獣医学国際教育研究センター : iCOVER

## 教育プログラムの開発と研究の促進を通して獣医学の発展に貢献

iCOVERは獣医学教育プログラムの開発と研究の高度化を推進する目的のため2015年1月に竣工しました。当センターは欧米水準の獣医学教育に対応した各種獣医学教育プログラムの開発を行うとともに、獣医学研究の促進と高度化を目指し、基礎研究から応用・臨床研究へ至る架け橋研究の育成と促進を図ることを目的としています。



## 施設案内 Overview



1F: 顕微鏡、バーチャルスライドシステム、ICT機器を備えた形態学系実習室です。  
2F: 生体機能学実習室と共にセルソーターなど高度な研究機器も備えています。

3, 4F: BSL2 (3F)、BSL3 (4F) に対応した設備を備えた感染症学系実習室。60人規模の参加型実習が実施可能です。



## 先端実験動物学研究施設 : ARCLAS

- ① 形態学系・生体機能学系実習室  
Practice rooms for morphology and basic biology
- ② 感染症学系実習室・BSL3施設  
Microbiological practice room and BSL3 facilities
- ③ 先端実験動物学研究施設 (全学施設)  
Advanced Research Center for Laboratory animal science

ARCLASは総合科学実験センターの施設としてiCoverに設置され、実験動物の飼養保管、国際水準の実験動物学教育、有用な実験動物の開発研究を行い、獣医学及び関連領域の研究教育活動を支援しています。本施設は2018年に動物の人道的な管理を促進する組織であるAAALAC Internationalの認証を取得しており、動物福祉に配慮した教育研究体制の充実に大きく寄与するものです。

## 総合病性鑑定施設 iPaDL

### 病理診断を通して、幅広く地域獣医療に貢献

iPaDLは、病理解剖を通してヨーロッパ認証に対応した高度な病理学教育の提供を目的として2017年に設立された。iPaDLは病理解剖時の学習効果を高めるためのAV設備や伴侶動物から産業動物、エキゾチックアニマルまで幅広い動物に対応した設備が整っており、病理診断を通して幅広い分野の獣医療へ貢献すると共に、学習機会を最大限に活用できる。

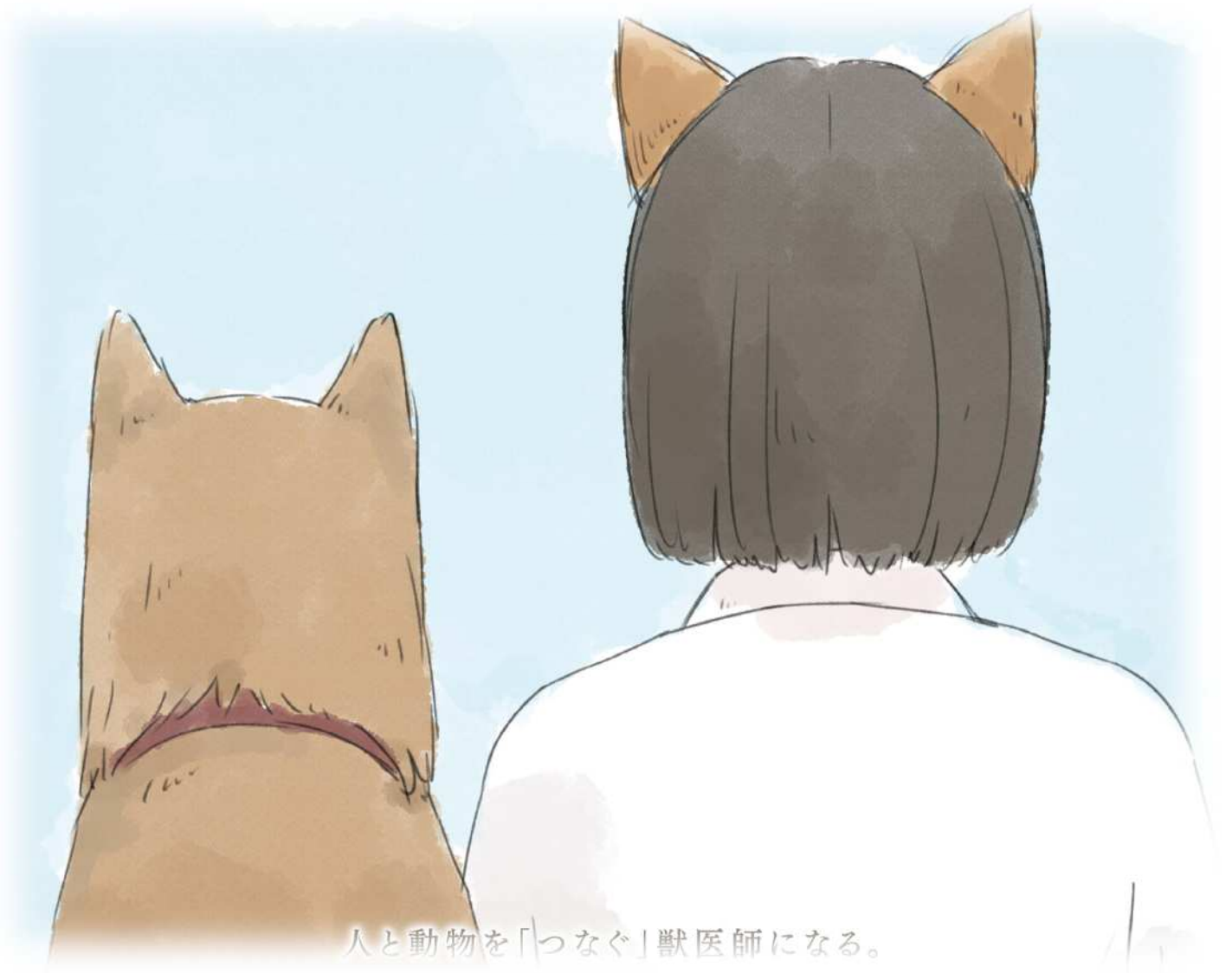


## 山口大学動物医療センター

### 高度獣医療の提供、教育と研究への貢献

YUAMECは「高度獣医療の提供」を主軸として積極的に活動しています。さらに「教育」と「研究」という2つの側面をもつ教育研究施設としても大切な役目を担っています。将来の獣医療を背負って立つ優れた獣医師の育成や、研修獣医師、看護師教育にも力を注ぎ、また病態解明や診断、治療に関する臨床研究においても積極的な取り組みを続けています。YUAMECは、これまでの変遷で学び取ってきた英知を基に、臨床獣医学の発展を目指し、さらなる努力を続けていきます。





80周年特設サイト

山口大学獣医学科創立80周年記念事業事務局  
【問い合わせ先】  
〒753-8515 山口大学共同獣医学部内